

平成23年度事業報告書

(平成23年4月1日より平成24年3月31日まで)

1] クラシック音楽事業及びクラシック音楽文化活動に関する人材育成 (定款第4条第1項関係)

- 経営者がタイムリーなテーマを協議し、会員のスキルアップ、同業種の共通問題の解決、経営者間の情報交換と親睦等を深めるべく、参加者を限定して実のある議論を展開する「10人会」は、以下のテーマで計1回開催されると共に、マネジメント部会及びホール部会がそれぞれ開催された。

※第1回 テーマ「JASRAC 価格改定に対する意見集約」

日 時 平成23年10月18日(火) 15時00分～17時00分

※ マネジメント部会

テーマ 市況の意見交換、文化政策の動向と劇場法についての意見交換、JASRACの利用料改定について

期 日 平成23年12月19日(月) 14:45～16:45

会 場 フォーラム8 506会議室 参加者はマネジメント関係の約20名

※ホール部会

テーマ 劇場法に対する民間ホールからの要望協議

期 日 平成24年2月8日(水) 15:00～17:00

会 場 協会事務局会議室 参加者はホール関係の約6名

- 昭和音楽大学の「新たな産学連携」事業として、ACPC(コンサートプロモーターズ協会)と連携して「音楽産業概論Ⅱ」の講座に本会の事業関係者を派遣し、クラシック音楽を取り巻く環境の変化や、コンサートスタイルの変貌等について講座が展開された。
- コンサートマネジメントのテキスト制作については、音楽教育文化振興会、昭和音楽大学、ヤマハミュージックメディア及び当協会の共同事業として、コンサートマネジメントに関するテキストの編纂。発刊を目指して、協議と準備を進めている。発刊は24年12月予定。尚、このテキストについては日本音楽マネジメント学会より推薦図書とすることが決定しており発行部数は2,000部の予定。制作については、会員各社の専門的な経験と知識のある方々に原稿執筆を依頼している。
- 全国公立文化施設協議会よりの要請で、善積常務理事が久留米市文化会館の職員研修会の講師を務め、地方の事業展開の問題点について解決にアドバイスを行った。

2] クラシック音楽事業及びクラシック音楽文化活動に関する調査及び研究 (定款第4条第2項関係)

- アート・マネジメントの検定制度については、テキスト発刊に伴い、あらためてマネジメントの資格制度や検定制度が理事会で協議され、検定制度の制定について研究を行うこととし、テキスト委員会と兼ねて関係者が協議を行い、テキスト事業を先行し、時間を掛けて検定制度を研究することとした。
- 二次使用、映像化等多様化する事業環境に対応する為の新契約書式の研究開発に向けたフォーマットの作成については、文化庁の助成の仕組みの変更により、出演費の分離(公演当日経費と稽古費)などの仕組みの変更や、二次使用の問題等に不明確な点があり対応が遅れており平成24年度の公的支援の仕組みが最終決定してから検討することとした。

3] クラシック音楽事業及びクラシック音楽文化活動に関する普及及び啓発 (定款第4条第3項関係)

- 財団法人地域創造の公共ホール音楽活性化事業に協力して、地域の公共ホールに於けるクラシック音楽普及の一環として、新進アーティストに活躍の場を提供し、地域音楽文化の活性化を促進した。財団法人地域創造からの受託事業として、プレゼンテーションの実施を受託した。又、平成24年度の同事業についても、4月より各地域での開催を可能とするため、全体研修会及びプレゼンテーションが前年度への前倒しとなり、平成24年2月に開催された。又、平成24・25年度を期間とする登録アーティストの選考会実施及び演奏家研修会の実施と所属マネジメントの斡旋と登録アーティストプロフィールの作成を行った。

※平成23年度公共ホール音楽活性化事業(全国14ホールで実施)

青森県むつ市、岩手県宮古市、栃木県宇都宮市、埼玉県行田市、東京都世田谷区、長野県小海町、愛知県豊田市、三重県鈴鹿市、大阪府高石市、兵庫県尼崎市、山口県山陽小野田市、熊本県菊陽町、大分県九重町、鹿児島県奄美市

- ※平成 23 年度登録アーティストによるプレゼンテーション
10 人（組）の登録アーティストによるプレゼンテーションが実施ホール担当者に対して実施された。
平成 23 年 1 月 27 日（木）／会場：第一生命ホール
- ※平成 24 年度登録アーティストによるプレゼンテーション
7 人（組）の登録アーティストによるプレゼンテーションが実施ホール担当者に対して実施された。
平成 24 年 2 月 2 日（木）／会場：渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール
- ※平成 24 年度実施ホール全体研修会
実施ホールの担当者に対して開催された研修会に講師・演奏家を派遣した。
平成 24 年 2 月 1 日（水）～3 日（金）／会場：地域創造会議室

- ※平成 24・25 年度登録アーティスト選考会
平成 24・25 年度を登録期間とするアーティストの選考会を実施した。

【第一次選考会（音源・書類審査）】

平成 23 年 5 月 21 日（土）／会場：ヤマハエレクトーンシティ渋谷
審査員：秋山和慶、児玉真、望月京
応募者 99 名（組） 第 1 次選考通過者 28 名（組）

【第二次選考会（実技・面接審査）】

平成 23 年 6 月 4・5 日（土・日）／会場：五反田文化センター音楽ホール
審査員：秋山和慶、小川典子、小澤櫻作、児玉真、宮田康子、村田亨、望月京
第 1 次選考通過者 28 名（組） 合格者 7 名（組）

- ※登録アーティスト研修会

平成 24・25 年を登録期間とするアーティストに対し事業説明及びアウトリーチに対するコミュニケーションスキルを身につけてもらうための集合研修会及び実施研修会を実施した。

【集合研修会】平成 23 年 10 月 24 日（月）～25 日（火）／会場：芸能花伝舎会議室

【実地研修会】平成 23 年 12 月～平成 24 年 1 月／青森県青森市、富山県入善町、愛知県幸田町、岐阜県山口市
参加者：登録アーティスト及びコーディネーター、地域創造・本会関係者 等

- 公共ホール音楽活性化事業の継続サポート事業「公共ホール音楽活性化支援事業」についても、協会として制作協力体制を整え、プレゼンテーションを開催するとともに、平成 23 年度は全国 22 ホールで実施した。

- ※登録アーティストによるプレゼンテーション

全 74 人（組）の登録アーティストのうち、48 人（組）によるプレゼンテーションが実施ホール担当者に対して実施された。

平成 23 年 8 月 2 日（火）・3 日（水）／会場：横浜赤レンガ倉庫 1 号館 ホール

- （財）地域創造の実施する公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業（都道府県等との共催により、親しみのあるクラシック演奏会と、アウトリーチ手法に関する研修会を開催する事業）の和歌山県公演についてアーティスト派遣に関するマネジメント業務を実施した。又、平成 24 年度の鹿児島県セッションの実施に向けた派遣アーティスト（アンサンブル）の選考会を行った。

- ※和歌山セッション（田辺市、上富田町、紀の川市、新宮市、紀美野町、橋本市、有田川町）

○期日 平成 23 年 10 月 15 日 上富田町公演（上富田文化会館）
平成 23 年 10 月 29 日 紀の川市公演（粉河ふるさとセンター）
平成 23 年 11 月 19 日 新宮市公演（新宮市民会館）
平成 23 年 12 月 3 日 紀美野町公演（紀美野町中央公民館）
平成 23 年 12 月 17 日 橋本市公演（橋本市産業文化会館）
平成 24 年 1 月 14 日 有田川町公演（有田川町地域交流センター）

○アウトリーチ研修会の開催 平成 23 年 9 月 1 日（木）～9 月 6 日（火）和歌山県紀南文化会館

○フォーラム・ガラコンサートの開催 平成 24 年 1 月 28 日（土）和歌山県紀南文化会館

○派遣アーティスト 審査会による選出演奏家 3 組（ピアノトリオ、弦楽四重奏、木管五重奏）

- ※鹿児島セッション派遣アーティスト選考会

平成 24 年度実施予定の鹿児島セッションに向けたアンサンブルの派遣アーティスト選考会を実施した。

【第一次選考会（音源・書類審査）】

平成 24 年 3 月 14 日（水）／会場：財団法人地域創造会議室
応募者 18 組 第 1 次選考通過者 9 組

【第二次選考会（実技・面接審査）】

平成 24 年 3 月 21 日（水）／会場：昭和音楽大学南校舎ユリホール
第一次選考通過者 9 組 合格者 2 組
第一次・第二次共通審査員：児玉真、山本若子、田村緑

- 東京文化発信プロジェクトの一環として開催された「ミュージック・ウィークス・イン・トーキョー」（“声”をキー・テーマとし、「ハイクオリティな芸術創造」と、「参加性」を柱に、東京の音楽と芸術文化シーンを活性化さ

せると共に、日本全国、そして世界へと発信するフェスティバルを目指す)については、実行委員会の事務局として東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)からの委託を受け以下の事業を開催した。

※ “スーパー・コーラス・トーキョー” 特別公演

○期 日 平成23年10月6日(木) 19時開演

会 場 東京オペラシティ・コンサートホール

○期 日 平成23年10月10日(月・祝) 15時開演

会 場 新国立劇場・オペラパレス

○内 容 モーツァルト:レクイエム 二短調(レヴィン版) K.626 /ブルックナー:テ・デウム ハ長調

出演者 指 揮:ヘルムート・ヴィンシャーマン

ソリスト:ソプラノ:澤畑恵美(M) /高橋薫子(B)

メゾソプラノ:加納悦子(M) /坂本朱(B)

テノール:福井敬(M) /中鉢聡(B)

バリトン:牧野正人(M) /河野克典(B)

管 弦 楽:東京都交響楽団

合 唱:スーパー・コーラス・トーキョー(SCT)

合唱指揮:ロベルト・ガッピアーニ

料 金 S席5,000円 A席4,000円 B席3,000円 C席2,000円 学生券1,000円

上記公演の他に、平成23年9月23日にヤマハホール、10月1日に江戸東京たてもの園・子宝湯、

10月2日東京文化会館キャノピーにてアマチュア合唱団出演によるまちなかコンサートも開催した。

○主催:東京都/東京文化発信プロジェクト室/ミュージック・ウィークス・イン・トーキョー実行委員会

※プレミアムコンサート

東京の音楽大使である東京都交響楽団による無料の公演を以下の日程にて都内各所にて開催した。

平成23年7月21日(木) サンパル荒川 指揮藤岡幸夫 合唱SCT

平成23年7月22日(金) 荒川区総合文化センター 指揮藤岡幸夫、合唱 SCT

平成23年7月23日(土) 昭島市民会館 指揮藤岡幸夫 合唱 SCT

平成23年8月29日(月) 文京シビック大ホール 指揮飯森範親 合唱SCT 司会朝岡聡

平成23年8月30日(火) かつしかシンフォニーヒルズ 指揮飯森範親 合唱SCT 司会朝岡聡

平成24年2月24日(金) 目黒パーシモンホール 指揮梅田俊明 ソリスト東京音楽アカデミー

優秀者 オーボエ:辻真理恵 ヴァイオリン:千葉水晶

平成24年3月4日(日) 羽村市民会館 指揮

このほか島嶼地区での室内楽コンサートを実施

※東京音楽アカデミー

次世代を担う音楽人材の育成の為、国内外の一流アーティストによるシンポジウムと直接レッスンを受けるマスタークラスを開催した。

【詳細については、東京都/東京文化発信プロジェクト室/ミュージック・ウィークス・イン・トーキョー実行委員会の主催事業につき、東京文化発信プロジェクトのサイトをご参照下さい。http://www.bh-project.jp/】

● 「Kona フェスタ 2011」への音楽企画の提案

日清製粉グループの主催による「Kona フェスタ 2011」(「食」を中心に「遊ぶ」「学ぶ」「楽しむ」をキーワードに参加性の高いエデュティメント(教育)+ (娯楽)を形成し日清製粉グループのCSRを表現する場とする)の受託企画制作として以下4組のアーティスト企画を提供し公演制作を行なった。

※ 「Kona フェスタ 2011」の音楽イベントの受託

日 時 平成23年11月12日(土)・13日(日) 両日共午前10時開場

会 場 国営昭和記念公園みどりの文化ゾーン(東京都立川市) 総入場者数15,000名。

出 演 津軽三味線 笹本壽&みやび / オペラ歌手と歌おう「久嶋香奈&吉川健一」

エキセントリック アイリッシュ 平沼有梨&フレンズ

エキサイティング!!二台マリンバとパーカッション 浜まゆみ・大熊理津子

● 丸の内元気文化プロジェクトの一環として、新丸ビル、丸の内OAZOにて、ミニライブを年間5回開催した。この事業は、大手町・丸の内・有楽町地区再開発推進協議会と文部科学省が推進する事業で、街の文化力を高め、その力で社会を元気にする活動として推進されている。尚、全5回の合計来場者数は約1000人。

※丸の内元気プロジェクト共催事業 日本クラシック音楽事業協会 PRESENTS クラシックサロン

第1回 11月16日(水) 18時30分〜 Saxophone Quartet 桜〜ちよっぴり早いクリスマスコンサート〜

出演 Saxophone Quartet 桜(サクソ四重奏)

第2回 11月22日(火) 18時30分〜 弦楽四重奏が奏でる一足早いクリスマス〜

出演 イルマーレ・カルテット(弦楽四重奏)

- 第3回 12月21日(水)18時30分ー アルモニスティー聖夜に奏でる天上のハーモニーー
出演 アルモニスティ (ヴォーカル:アカペラ)
- 第4回 12月22日(木)18時30分ー 歌とヴァイオリンで贈るロマンティックなクリスマスのひと時ー
出演 キュウ・ウォン・ハン (バリトン) 12人のヴァイオリニスト (ヴァイオリン)
- 第5回 2月10日(金)18時30分ー クインテット・アッシュー木管五重奏の響きー
出演 クインテット・アッシュ (木管五重奏)

●宝くじドリーム館 プレミアムクラシックコンサートの制作

クラシック音楽を通じて宝くじの理解促進及び普及宣伝に向けたランチタイムコンサートを、東京・京橋にある宝くじドリーム館で年間11回、大阪・難波にある宝くじドリーム館で年間10回開催し、近隣の地域住民や来館される宝くじファンとのコンサートを通じたコミュニティ活動を行なった。尚、東京の全11回の合計来場者数は約4000人。又、大阪の全10回の合計来場者数は約1500人。

※東京宝くじドリーム館ランチタイムコンサートの開催

- Vol,1 4月20日(水)正午ー ギターの魅力満載のスプリングコンサート 出演:益田正洋 (ギター)
- Vol,2 5月18日(水)正午ー 季節の歌を花束にして 出演:竹村佳子 (ソプラノ)
- Vol,3 6月15日(水)正午ー 音楽の語らい 出演:野口千代光 (ヴァイオリン)
- Vol,4 7月20日(水)正午ー 名曲を奏でる癒しのフルート 出演:岩佐和弘 (フルート)
- Vol,5 9月21日(水)正午ー つなぐ音、奏でる音 出演:ヴァウール (ピアノデュオ)
- Vol,6 10月19日(水)正午ー 秋のマリンバコンサート 出演:大熊理津子 (マリンバ)
- Vol,7 11月16日(水)正午ー 気軽にクラシック 出演:佐々木京子 (ピアノ)
- Vol,8 12月7日(水)正午ー 年忘れにっぽんの歌、世界の歌!! 出演:吉川健一 (バリトン)
- Vol,9 1月18日(水)正午ー 木管五重奏のやさしい響き 出演:風の五重奏団 (木管五重奏)
- Vol,10 2月15日(水)正午ー 春を待つヴァイオリンの調べ 出演:早稲田桜子 (ヴァイオリン)
- Vol,11 3月7日(水)正午ー ランチタイムスペシャルコンサート「のだめカンタービレ」と「春」
出演: 指揮:茂木大輔 弦楽合奏:宝くじスペシャルストリングス 他

※大阪宝くじドリーム館ランチタイムコンサートのモデル開催

- Vol,1 4月21日(木)16:00ー ピアノに花を咲かせましょう! 出演:今野尚美 (ピアノ)
- Vol,2 5月19日(木)12:00ー 片岡リサのびっくり箏コンサート 出演:片岡リサ (箏)
- Vol,3 6月16日(木)16:00ー ハートフルコンサート 出演:田中靖人 (サクソフォン)
- Vol,4 7月21日(木)12:00ー 夏だから・・・歌なのです! 出演:大森智子 (ソプラノ)
- Vol,5 9月22日(木)16:00ー 初秋のロマンティッククラリネット 出演:小谷口直子 (クラリネット)
- Vol,6 10月20日(木)12:00ー 魔法のマレット マリンバで名曲! 出演:宮本妥子 (マリンバ)
- Vol,7 11月17日(木)16:00ー 魅惑のメゾソプラノ 出演:菅家奈津子 (メゾソプラノ)
- Vol,8 12月8日(木)12:00ー ピアノで語る今日は何の日?コンサート 出演:奈良希愛 (ピアノ)
- Vol,9 1月19日(木)16:00ー 新春に舞うピアノとチェロの調べ 出演:Duo Yamaguchi (ピアノ&チェロ)
- Vol,10 2月16日(木)12:00ー ヴァイオリン珠玉の名曲コンサート 出演:大森潤子 (ヴァイオリン)

●東日本大震災復興支援グリーンジャンボ宝くじ 抽せん会アトラクション企画の制作

第617回全国自治宝くじ「東日本大震災復興支援グリーンジャンボ宝くじ」の抽せん会アトラクション企画として「歌でよみがえる ふるとさ の力 ーオペラ歌手が歌う「日本の歌・世界の歌」ー」として、声楽家4人により、被災地の復興とクラシック音楽の普及に向けた公演を実施した。

※歌でよみがえる ふるとさ の力 ーオペラ歌手が歌う「日本の歌・世界の歌」ー

日 時 平成24年3月23日(金)午後13時30分開演

会 場 イズミティ21(仙台市泉文化創造センター) 総入場者数1,400名。

出 演 S:竹村佳子 A:菅家奈津子 T:中鉢聡 B:吉川健一 P:藤原藍子

- クラシック音楽の聴衆の増加を目指し、協会のスケールメリットを活かした会員の協同広告事業については、従来の朝日新聞音楽情報欄として毎月定期的に掲載している。又、二年前より実施している朝日新聞の朝刊ミュージックプラザ欄の協同広告については、掲出社の減少、予算の減少等により今期は掲出出来なかった。

4]クラシック音楽事業及びクラシック音楽文化活動に関する知的財産権の維持・管理及び保全

(定款第4条第4項関係)

- 音楽著作権使用料の再改訂については、平成23年4月1日より1%の使用料上乘せがJASRACより通告されたことに対し、現況では1%の値上げといえども受け入れがたい状況にあることをアピールし、時期の延長を申し入れたが交渉は難航している。
- コンサート約款の制定・普及につき、協議を継続しているがそれぞれの団体の規定を統一することに時間がかかっており制定が持ち越しとなった。

5] クラシック音楽事業及びクラシック音楽文化活動に関する情報収集及び提供事業（定款第4条第5項関係）

- クラシック音楽情報公式サイト「JAPAN CLASSIC NAVI」の運営については、運営費の捻出が厳しいことから、昨年度より事務局内部での運営を行っている。サイトに情報を継続的に掲出する会員の低迷と、利用者のアクセス数の伸び悩みについては依然厳しい状況ではあるが、東日本大震災における公演の中止や延期情報の掲出等を積極的に行なったことや、本会内に設置された「心の復興音楽基金」の基金支援情報等も継続発信しており、会員からの積極的な情報掲出を求めてゆく方針である。
- クラシック音楽事業ガイドに代わる広報誌の発刊については、震災の影響や、法人移行の諸事業により、出版予算の問題や編集内容について未確定の部分が多く、今期は発刊に至らなかった。

6] クラシック音楽事業及びクラシック音楽文化活動に関する内外関係機関等との交流及び協力事業

（定款第4条第6項関係）

- 文化芸術振興基本法制定10周年記念のシンポジウムを芸団協他と協力し、音楽議員連盟主催で12月7日に開催した。基本法に基づいた政令・省令や文化条例の進展について文化団体から協力に要請を行った。又、劇場法の制定が進んでいることから、文化庁で行われる関係委員会等の進展を見据えて、関係団体と劇場法の在り方及び関連の文化政策の在り方について提言を行った。
- 平成23年11月2日～5日にフィリピンのマニラにて開催されたFACPの第29回年次総会に本会より関田会長、福田副会長、茂田国際委員長、善積常務理事、中坪会員等が出席し、震災後の日本の音楽市場の状況報告等が行われ、中国や韓国等のアジア諸国との音楽文化活動の交流を行った。福田副会長がプレゼンしたピアニスト中村ふゆこさんのショウケースではアンコールとして2回の舞台が提供され注目された。茂田委員長の震災に関してのレポートでは、日本の震災に対する取り組み等に賞賛の声があがった。
- 芸術文化都市東京を創ろうネットワークの活動は、関係者のリタイヤ等で再構築が求められており、本年度に関しては小平市文化振興財団とこいだいら子ども劇場との例年の企画事業のアドバイスをを行うにとどまった。東京オーケストラ事業協会が主体の「芸術家と子ども達の出合う街」企画は、平成24年3月に墨田トリフォニーホールで開催され、委員会に善積常務理事が参加し監事を務めた。

7] その他本会の目的を達成するための事業（定款第4条第7項関係）

- 平成23年度の会員数は、正会員48会員（平成22年度末）より、46会員（平成23年度末）に（この間退会3会員、新入会1会員）、賛助会員58会員（平成22年度末）より、56会員（平成23年度末）に（この間退会3会員、新入会1会員）なった。平成20年度から正会員の減少が続いており、一般社団法人への移行と併せ、会員資格及び会費制度の見直しを検討している。
- 昨年、文化芸術推進フォーラムの構成団体として参加し、音楽議員連盟と共に文化予算の増大に向けたキャンペーンにて約63万筆の署名を集め、国会議員に提出した「もっと文化をキャンペーン」。今年は、その継続活動として「文化予算の増額を求める63万筆の国会請願の思いを生かして～」と題し、文化芸術振興基本法の制定10周年を契機に文化芸術立国の実現に向けたシンポジウムや更なる署名活動を展開した。
※ シンポジウム「文化芸術振興基本法10年を検証し、これからの文化芸術政策を展望する」
期日 平成23年12月7日（水）18時～19時30分
会場 ホテル・オークラ「曙の間」
主催 超党派・音楽議員連盟/文化芸術推進フォーラム
- 事業環境整備として芸術ヴィザでの公演可能に向けた制度改正の働きかけと二重源泉税問題の解消に向けた各方面との交渉については、政権交代後の重要事項として消費税増額が主題となっており、二重源泉の解消の協議までには至らなかった。
- 公益法人法改正に伴い、昨年度の総会にて一般社団法人へ移行することが決議され、今年度は移行に向け内閣府と協議を続けて来た。論点となっていた協会の会員資格や会費制度を見直す制度設計については、一般社団法人への移行とは切り離して行うこととし、2月14日の臨時総会にて議決された新定款と共に内閣府へ一般社団法人への移行申請を行った。
- 東日本大震災にて災害に遭われた方々の心の復興による活力の喚起に向け設置された「心の復興音楽基金」については、今年度で52団体・個人の皆様から約900万円のご寄付をいただいた。支援先については、基金運用規程に則り、11件約200万円の支援を行い、被災地の皆様に向けた音楽のプレゼントを行った。

- 福島原子力発電の事故により多くの外来演奏家の来日拒否や邦人の公演にも多大の影響があった。東京電力に対する損害賠償について、原子力損害賠償紛争審査会専門委員として音楽関係のとりまとめを善積常務理事が文部科学大臣より依頼され、賠償に関する業界の状況を把握し報告した。結果、外来演奏家の風評による来日拒否及び原発周辺での直接施設使用不能による公演事業は賠償対象となった。
- 本会監事栗林信介氏のご紹介により、故兼松信子（ピアニスト・愛知県立芸術大学名誉教授）氏の遺産より2,000万円をクラシック音楽事業に有用されるようご寄付をいただいた。